

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和6年3月1日

事業所名 運動療育型児童デイ ぼぶらの樹 住吉

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8		定員数に合った広さで十分な療育が行えている	個別療育と集団療育のスペースを分けているが個別スペースで走ってしまうことがあるため、机等備品の移動を適宜行っている
	2	職員の配置数は適切である	8		人員配置基準に準じた配置ができています	人員基準に問題ないが、外出行事等支援内容に合った人材の確保に努めている
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	8		社内建築部による設備のバリアフリー化、修繕が早急になされている	玄関先にはスロープを設け、バリアフリー化に努めている。利用者により手摺の設置も検討していく
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	2	会議、研修、朝・終礼、面談等の実施で常に業務改善に努めている	非常勤職員も参加し、全職員で情報共有と改善に向けてのミーティングを行っている
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8		評価表以外にも独自のアンケートや懇談の実施で業務改善に努めている	左記の内容を継続し、保護者への信頼、安心、満足度向上に繋げていく
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8		ホームページにて公開している	ホームページ上で公開し、全職員で共有していく
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		8	現在は第三者委員は設けていない	現在のところ行っていないが、今後は必要に応じて導入を検討し、業務改善に努めていく
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	4	社内研修の実施及び社外研修への奨励を行っている。社外研修で学んだことを社内で研修し、全職員の資質向上に努めている	非常勤職員へももっと研修機会を設けていく
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8		定期的な懇談、送迎時や必要に応じて電話等でニーズや課題を聞き取り、支援計画に反映している	成長や環境により変化するニーズや課題に都度対応しながら行っていく
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8		所定のアセスメントシート及び生活状況確認表を使用している	従来のアセスメントシートと生活状況確認表を一つにまとめ、より詳細に子どもの状況が分かるものを作成、使用していく
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	8		全職員で立案、検討してプログラムを作成している	全職員にアイデアを募り、反映させながらプログラムを変化させている
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8		利用者の要望も取り入れながら、常に新しい活動の考案に努めている	個々の課題やニーズに応えられる活動を楽しめる形に工夫しながら提供している
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	8		ルーティンの活動を基本としながらも、平日、休日等で活動内容、流れを設定している	療育(集団及び個別)、自由時間を時間で設定、また、休日には外出行事などで変化を持たせている
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8		生活面の訓練、学習等個別活動と運動、リズム等集団活動を組み合わせ、子どもの状況、保護者のニーズに沿って支援計画を作成している	成長に伴い変化する課題やニーズに沿って個別活動と集団活動を組み合わせて支援計画に反映させている
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8		朝礼にて送迎、支援内容、留意点、役割分担、ケース会議を行っている	朝礼の重要性を意識し、その日の保護者からの連絡や支援中に想定されることもしっかり伝達している
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8		終礼にて支援の振り返りを行い、支援(SST、ABA)結果や問題点・改善点等話し合い、情報共有している	その後の経過についても話し合い、更に改善や支援の質の向上に努めている
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8		ケース記録、ヒヤリハット、業務改善等を記入し、支援の検証・改善につなげている	支援の成果や課題、問題点等について常に話し合いながら適切な支援を行っている
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8		必要に応じて少なくとも半年に一回行い、支援計画の見直しを行っている	左記の内容を継続し、適切な支援計画の作成を行っていく
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	8		自立支援や創作活動、余暇の提供等複数組み合わせ支援を行っている	地域交流の機会の提供も検討し、社会経験を増やせるようにする	

関係機関や保護者との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	児童発達支援管理責任者が担当者会議に出席している	左記の内容で継続していく
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	8	保護者からの連絡を基本としつつ、必要に応じて送迎時や電話にて学校へ確認し、情報共有、連絡調整を行っている	左記の内容で継続していく
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	8	医療的ケアが必要な子どもの利用はなし	医療的ケアが必要な子どもの利用はなし
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	8	必要に応じて連絡を取り、情報共有と相互理解に努めている	左記の内容で継続していく
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	8	必要に応じて電話や訪問等で情報提供を行っている	左記の内容で継続していく
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8	現在は児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携していない	現在は行ってないため、より専門的な支援ができるよう助言や研修機会の導入を検討していく
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	8	現在は放課後児童クラブや児童館との交流機会を設けていない	現在は機会を設けていないため、放課後児童クラブや児童館、障がいのない子どもと幅広く交流する機会を作っていくよう検討していく
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	8	現在は自立支援協議会等には参加していない	活動内容についての情報を得たのみにとどまっているため、今後は参加する機会を作っていくようにする
保護者への説明責任等	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っている	8	送迎時や連絡帳、電話にて日々情報交換を行い、必要な支援につなげている	保護者だけで悩みを抱えず、話しやすい環境や信頼関係を構築しながら行っていく。学校や病院等関係機関の情報共有もしっかり行っていく
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	8	保護者からの相談に応じ、家庭における困りごとに対する対応方法や課題に対する支援方法を伝えている	相談会を実施している(イベント時に進路相談ブースの設置、なんでも相談CARで随時相談を請け負っている)
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8	契約時や変更時には必ず説明を行い、不明なことは都度質問に応じて行っている	都度疑問や質問に応じながら、不明なままにせず、必ず同意を得るようにしている
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	必要に応じて送迎時や電話、また定期的に行っている懇談時に相談援助を行っている	左記の内容で継続し、安心して通所してもらえるよう努める
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	8	保護者会は行っていないが、保護者参加型の行事を開催している	今後は保護者同士の連携が取れる取り組みを検討していく
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8	全職員で対処法を検討し、子どもや保護者に改善についての報告を行い、迅速かつ適切に対応している	左記の内容で継続していく
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8	定期的な広報誌の発行、毎月行事予定表の配布及び行事によっては別途詳細の案内を配布している	インスタグラムやホームページ上でのブログにて毎週活動内容等を発信している
	35	個人情報に十分注意している	8	個人情報書類の厳重な保管(鍵付きロッカーや金庫)及び社外(退職者含む)への情報漏えいを固く禁じている	左記の内容で継続していく
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	分かりやすい言葉や視覚的支援等の配慮を行っている	左記の内容で継続しつつ、更に意思疎通や情報伝達のために分かりやすい教材等を探し、配慮に努めていく
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	8	事業所の行事はSNSやチラシ等の宣伝にて広く周知、招待できるようにしている	地域住民へのチラシの配布等を行い、行事への招待等、開かれた事業運営を行っていく

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8	各マニュアルを策定して事業所内に掲示し、全職員に周知している	保護者への各マニュアルの周知を行っている
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	年二回以上、職員と子どもで災害時に備えて避難訓練を行っている	左記の内容で継続していく 災害用備品の保管も行っている
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	社内及び社外研修にて全職員が学ぶ機会を設けている	定期的に行うことで、全職員が研修参加できるようにし、また、繰り返し行うことで虐待への意識が希薄にならないよう努めている
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	8	車椅子の子どもに対するベルトの固定や生命の危険回避のためなど保護者への同意書の作成及び支援計画に記載している	左記の内容で継続していく
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8	契約時や都度保護者からの伝達を受け、指示に基づく対応を行っている	左記の内容で継続していく
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	ヒヤリハット報告書をもとに全職員で共有、改善案を周知及び会議でも話し合っている	ヒヤリハット会議を行い、事故や危険を未然に防ぐよう努めている